

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8239
担当部課名	経済部	農政	課	
事務事業名	農産物流通対策事業(野菜生産出荷奨励金)		事業コード	31510

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした産業の振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第5節	都市農業の振興	~63年度
施策名	第1施策	安定した農業経営の確立	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
野菜生産農家の経営の安定化と、市内産農産物の市内流通奨励を目的としている。			
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
合計出荷額 50,040,513円 奨励金交付額 1,501,205円(出荷額の3%)			
(5) 個別計画の概要			
計画名		年度~年度	
計画年次			

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a	b		
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	1,905	1,576	1,501	2,500	1,800
	人員・時間数	1	1	1	1	1
	人件費	4,210	4,210	4,210	4,210	4,210
	その他経費					
	合計	6,115	5,786	5,711	6,710	6,010
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
----------------------------	----------------------------	----------------------------

理由：

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 B ▼	A : 適応している	理由： 市場を経由した場合流通コストと時間がかかるため、市場を経由しない販売方法が広がりを見せている。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由： 投資金額に対して、その効果は比較的大きいものと想定される。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 消費者に地場農産物を供給するための施策であり、市が行うことがもっとも有効だと考えられる。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 B ▼	A : 満足できる	理由： 流通量そのものが不足している。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： 流通量不足のため消費者に対するメリットは少ないが、交付金を受ける生産者にとっては有効である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p> ブランド化事業との組み合わせにより、流通量が増大すれば、効果が向上する。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明：</p>

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点